

沖縄修学旅行 防疫観光ガイドライン

～安全・安心な受入をめざして～

令和2年10月16日更新



はじめに

沖縄への修学旅行につきまして、平素よりご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。
毎年、数多くの学校に修学旅行先として本県を選んでいただいております。年間約2,400校、43万人の学生・生徒の皆さんに沖縄の自然・歴史・文化を通じた「学び」を体験していただいております。

沖縄県では、withコロナ時代の観光において、旅行者の皆様を安全・安心にお迎えするため「旅行者の安全・安心アクションプラン 沖縄Tour Style With コロナ」を策定し、感染予防・拡大防止に取り組んでいるところです。そのプランに基づいて、今回、修学旅行で沖縄をお越しになれる皆様方へ「安全・安心」にご旅行を催行していただくことを目的に「沖縄修学旅行 防疫観光ガイドライン ～安全・安心な受入をめざして～」を策定いたしました。

「修学旅行」は、学校生活の中でも参加する生徒の皆様にとって最も強い印象として残る極めて価値のある教育的体験学習であるとの認識のもと、観光業界一丸となって当ガイドラインに沿って修学旅行の受入を行いますので、修学旅行で本県を訪れる学生の皆様、またご父母、学校関係者、旅行社の皆様においては当ガイドラインを是非参考にいただければと存じます。

なお、当ガイドラインは随時「更新」を図って、より「安全・安心な訪問地づくり」に努めて参りますので、ご利用の際にはどうぞ最新版のご確認をよろしくお願い申し上げます。

おもてなしの気持ち「うとぅいむち」の心で皆さまを歓迎いたします。

沖縄県・（一財）沖縄観光コンベンションビューロー

【 目 次 】



1. 新型コロナウイルスについて

2. 沖縄県内の修学旅行受入対策

-沖縄Tour Style With コロナ

-旅行者専用相談センター沖縄

TACO (Traveler's Access Center Okinawa)

-その他のお問い合わせ先

3. 沖縄へ来る修学旅行生のみなさまへ

4. 新型コロナウイルス感染症かも…と思ったら

5. 県内修学旅行受入事業者の対策

- | | |
|-----------|-----------------|
| (1) 航空機 | (7) 観光施設 |
| (2) 旅客船 | (8) 教育旅行民泊 |
| (3) バス | (9) 平和ガイド（ガマ入壕） |
| (4) タクシー | (10) マリン体験 |
| (5) モノレール | (11) 飲食店 |
| (6) ホテル | (12) お土産店 |

6. よくある質問（FAQ）

7. 協力企業・参考



1. 新型コロナウイルスについて

【参考】厚生労働省HP 新型コロナウイルスに関するQ&A（一般の方向け）
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/dengue_fever_qa_00001.html

おもな症状

発熱やのどの痛み
咳
強いだるさ（倦怠感）
比較的軽い風邪の症状が4日以上続く

感染経路 飛沫感染

感染者の飛沫（くしゃみ、咳、つばなど）と一緒にウイルスが放出され、他の方がそのウイルスを口や鼻などから吸い込んで感染します。

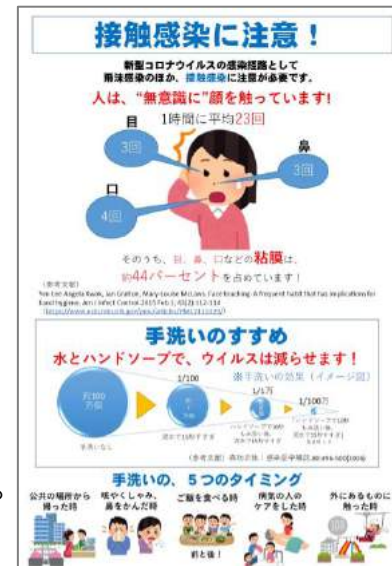
感染対策

咳エチケット・手洗い

風邪や季節性インフルエンザ対策と同様におひとりおひとりの咳エチケットや手洗いなどの実施がとても重要です。
風邪症状があれば、外出を控えていただき、やむを得ず、外出される場合にはマスクを着用していただくよう、お願いします。

接触感染

感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、その手で周りの物に触れるとウイルスがつきます。他の方がそれを触るとウイルスが手に付着し、その手で口や鼻を触ると粘膜から感染します。



三密を避けましょう

集団感染の共通点は、特に「換気が悪く」「人が密に集まって過ごすような空間」「不特定多数の人が接触するおそれが高い場所」です。

換気が悪く、人が密に集まって過ごすような空間に集団で集まることを避けてください。



出典：首相官邸HP

2. 沖縄県内の修学旅行受入対策

～安全・安心を目指して～

沖縄県では安全・安心な島を目指して、『沖縄Tour Style Withコロナ』を取りまとめ、有意義な修学旅行の場を提供すべく、様々な取り組みを行ってまいります

沖縄Tour Style With コロナ

①水際対策と発熱者・感染懸念者発生時の取り組み

旅行者専用相談センター沖縄

TACO (Traveler's Access Center Okinawa) の設置

②旅行者視点・旅行行程に沿った対策の整理

【旅前(タビマエ)】(居住地、那覇空港)

【旅中(タビナカ)】(観光施設、移動時)

【旅後(タビアト)】(那覇空港、居住地)

繋げることにより切れ目のない対策の実施

③情報の発信・伝達・収集

旅行者への事前告知【情報発信】

観光関連団体との連携【情報伝達】

沖縄から帰省後の健康状態確認【情報収集】

④各主体の役割の整理

Withコロナ時代の旅行者の受入にあたり行政、観光関連団体・事業者の他、旅行者としての観光客、県民の役割の整理

旅行者専用相談センター沖縄

TACO (Traveler's Access Center Okinawa)

電話番号：098-840-1677

(6:00～23:00・無休)

※変更の可能性があります。

※台風などの有事の場合、閉所する可能性があります。

1. 発熱者対応 (空港)

- ・サーモグラフィー等連携
(発熱感知連絡受信)
- ・健康確認等への協力依頼・誘導

2. 旅行中のコールセンター機能

- ・健康相談 等

3. 感染懸念者サポート

- ・検査実施機関との調整 等
- ・切れ目のない対策の実施
(旅前→旅中→旅後)

4. 情報収集・伝達・発信

- ・旅行業者との連携 等

その他のお問い合わせ先

修学旅行前の質問や相談

沖縄観光コンベンションビューロー

教育旅行チーム 098-859-6125

(平日9:00～17:00)

コロナウイルス感染症に関するお問い合わせやご相談

新型コロナウイルス感染症 相談窓口

コールセンター 098-866-2129

(24時間受付・無休)

おきなわ修学旅行ナビ

旅行会社や教職員のための修学旅行専門サイト

おきなわ修学旅行



3.沖縄へ来る修学旅行生のみなさまへ

安全・安心な沖縄修学旅行を実施するため、修学旅行で訪れる児童生徒のみなさまや保護者、学校関係者のみなさまにおかれましても、新型コロナウイルス感染予防及び感染拡大防止対策にご協力をお願い致します。

タビマエ 旅 前

生徒	教職員	保護者
- 健康観察の徹底 - 体温、体調の報告 - 持ち物の確認 マスク ハンカチ 体温計 - 手洗い うがい 消毒 などの徹底	- 健康観察の徹底 体温、体調報告 - 持ち物の確認 マスク ハンカチ 体温計 - 手洗い うがい 消毒 などの徹底	- 健康観察の徹底 体温、体調報告 - 持ち物の確認 マスク ハンカチ 体温計 - 手洗い うがい 消毒 などの徹底
	- 児童生徒の健康観察 - 保護者より、児童生徒の健康上留意することのヒアリング (食物アレルギーや既往歴の事前調査) - 児童生徒への旅行中の感染防止対策の事前指導 感染予防の行動手洗や咳エチケット、乗り物乗車中や食事中、大浴場利用中の会話を控える等	- 児童生徒の健康上必要なものの準備 (薬など) - 学校へ児童生徒の健康上留意することの報告 (食物アレルギーや既往歴の事前調査)

タビナカ 旅 中

生徒	教職員	保護者
- 朝・夕の定期的な検温 - 手を拭くタオルやハンカチ等は個人持ち(1日1枚)として共用はしない	- 朝・夕の定期的な検温 - 手を拭くタオルやハンカチ等は個人持ち(1日1枚)として、共用はしない - 体調不良者発生などの場合の特段の配慮 - 感染防止対策徹底の生徒へのご指導	いつでも緊急連絡に対応できるように待機

タビアト 旅 後

生徒	教職員	保護者
旅行終了後の健康観察 参加者ご本人や同居のご家族等も含めた健康状態の経過観察を、実施後の一定期間(目安として2週間程度)行うようお願い致します		

参考：旅行関連業における新型コロナウイルス対応
ガイドラインに基づく国内修学旅行の手引き(第3版)

4.新型コロナウイルス感染症かも・・・と思ったら① (出発前～沖縄到着まで)

※10月16日時点での情報です。
今後変更の可能性もございます。予めご了承ください。

出発前 編

出発までに以下の症状が、、、
発熱やのどの痛み
咳
強いだるさ（倦怠感）
比較的軽い風邪の症状が4日以上続く

ある

旅行参加の自粛
医療機関へ連絡する

ない

体調管理に
気をつけながら
旅行に参加する



沖縄到着時（那覇空港にて） 編

那覇空港に設置のサーモグラフィーで発熱の感知

発熱あり
(37.5℃以上)

(空港施設内)
旅行者専用相談センター沖縄（TACO）にて対応

相談

沖縄県コロナ対策本部
(沖縄県保健医療部)

医師より検査受診の勧告

那覇空港にて
唾液抗原検査

移動

検査結果の連絡を待つ
※検査結果が出るまで、
数時間かかるケースがあります

TACOより
検査結果の連絡

陽性

陰性

沖縄県コロナ対策本部
(沖縄県保健医療部)からの
連絡・指示を待つ

体調管理に
気をつけながら旅程に戻る



出典：旅行者の安全・安心アクションプラン 沖縄Tour Style Withコロナ（沖縄県HP）

写真：おきなわ修学旅行ナビ（沖縄観光コンベンションビューローHP）

4.新型コロナウイルス感染症かも・・・と思ったら② (修学旅行中～沖縄出発、旅後まで)

※ 10月16日時点での情報です。
今後変更の可能性もございます。予めご了承ください。

修学旅行中 編

各事業所のガイドラインにて対応 ※体調管理・検温（適時）

【交通】

バス・タクシー
モノレール・船舶

【行動】

宿泊施設・観光施設
飲食店・アクティビティ

発熱あり

(空港施設内)
旅行者専用相談センター沖縄 (TACO)
(TACO受付時間外は
新型コロナウイルス感染症
相談窓口 コールセンター) へ連絡

問診

保健所の紹介

管轄保健所

検査受診の勧告
手配・搬送

PCR検査／抗原検査

移動

(宿泊施設)
一時待機施設

陽性

病 院

陰性

体調管理に気をつけながら
旅程に戻る



発熱なし

体調管理に
気をつけながら
旅程に戻る

沖縄出発時（那覇空港にて） 編

※時間に余裕を持って搭乗手続きを行うために、
空港へ出発する前の検温及び体調確認をお勧めします。

那覇空港に設置のサーモグラフィーで発熱の感知

発熱あり
(37.5℃以上)

航空会社にて
搭乗可否の判断

搭乗可

搭乗

搭乗不可

(空港施設内)
旅行者専用相談センター沖縄 (TACO) へ案内

相談

沖縄県コロナ対策本部
(沖縄県保健医療部)

医師より検査受診勧告

那覇空港にて
だ液抗原検査

移動

検査結果の連絡を待つ
※検査結果が出るまで、
数時間かかるケースがあります

TACOより
検査結果の連絡

陽性

陰性

沖縄県コロナ対策本部
(沖縄県保健医療部)からの
連絡・指示を待つ

搭乗

※搭乗便の変更や延泊の可能性あり



旅後（タビアト） 編

発熱あり

発熱なし

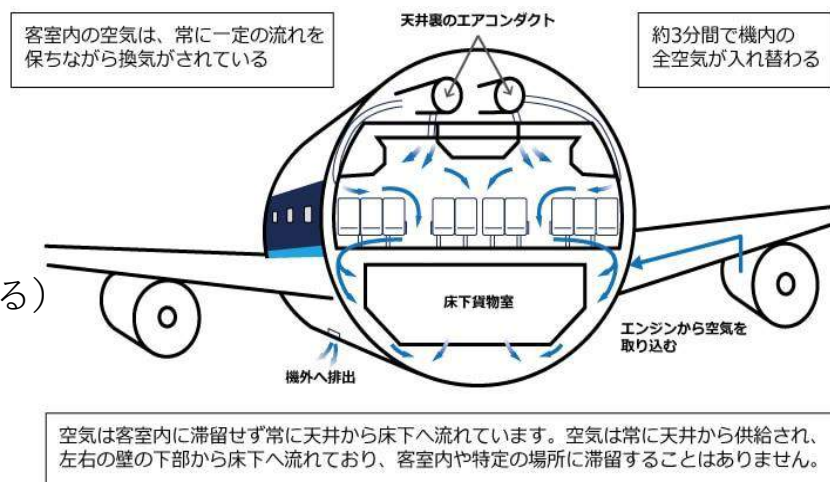
情報収集
帰省後の健康観察

(空港施設内)
旅行者専用相談センター沖縄 (TACO)

5. 県内修学旅行受入事業者の対策①

(1) 航空機

- 保安検査場入口付近での検温の実施
(※羽田・成田・伊丹・関空・中部・福岡の6空港で実施)
- 機内の換気(飛行中に機内の全空気が**約3分**で常時入れ替わる)
- 機内での客室乗務員のマスク・手袋着用
- アルコールシートの提供
- お客様へのマスク着用要請等の実施



(※提供 全日本空輸株式会社)

参考ガイドライン・航空会社各社の取組

- 航空分野における新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン (定期航空協会)
<http://teikokyo.gr.jp/pressrelease/483/#section-1>
- 全日空: <https://www.ana.co.jp/ja/jp/topics/notice200502/>
- 日本航空: <https://www.jal.co.jp/jp/ja/info/2020/other/flysafe/protection-measures/index.html>
- スカイマーク: https://www.skymark.co.jp/ja/news/special/dom_cov_csinfo01.html?cp=topsub1covid19

記載の取り組みは一例のため、詳細につきましては、各航空会社のHPにてご確認ください

5.県内修学旅行受入事業者の対策②

掲載の対策は各団体及び事業者発行ガイドラインの一部抜粋及び取組の一例です。
詳細は修学旅行実施前に各事業者及び旅行会社へ確認をお願いします。

(2) 船舶（ターミナルにおける感染予防策など）

- サーモカメラによる、乗客の検温を実施（泊ふ頭旅客ターミナルのみ）
37.5度以上の発熱が検知された場合は、保健所等へ連絡するよう案内
- ターミナル及び旅客船内の換気（換気設備の適切な運転、可能な際の窓の開放等）
- 高頻度接触部位（ドアノブ、手すり等）の定期的な清拭消毒

参考ガイドライン

- 旅客船事業における新型コロナウイルス感染予防対策 ガイドライン（一般社団法人日本旅客船協会）
https://www.jships.or.jp/news_detail.php?id=7554
- 旅客ターミナル（那覇・泊・新港）における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン（那覇港管理組合）
<https://nahaport.jp/>
<https://nahaport.jp/userfiles/files/autoupload/2020/08/1597985689.pdf>

(3) バス

- 乗務員の体調管理・マスクの着用
（乗務前点呼時の体温、風邪症状の有無等の報告及び確認、健康チェックシート）
- 消毒液の常備
- エアコンによる外気換気モード及びバス待機中の乗降口や窓の開放による車内換気の徹底
※熱中症にも留意し適宜組み合わせで対応
- ガイドのアナウンスは可能な限り前方を向いて行う
- 出庫前、待機中、帰庫後の定期的な消毒剤の噴霧または消毒剤による清拭
- 手荷物の受け渡し等におけるマスク手袋の着用
- 大型観光バスは概ね**5分～7分程度**で車内の空気を入れ替えられる ※車種によって異なります

参考ガイドライン

- 貸切バスにおける新型コロナウイルス対応ガイドライン（貸切バス旅行連絡会、一般社団法人沖縄県バス協会）
<https://www.bus-okinawa.or.jp/>

5.県内修学旅行受入事業者の対策③

掲載の対策は各団体及び事業者発行ガイドラインの一部抜粋及び取組の一例です。
詳細は修学旅行実施前に各事業者及び旅行会社へ確認をお願いします。

(4) タクシー

- 事業所における感染防止対策（代表者・全従業員対象）
- 運行管理者による感染防止対策（出庫・帰庫の点呼時）
- 乗務員の感染防止対策（職場・自宅他）
- 感染が疑われる者・感染者が発生した場合の感染防止対策等

参考ガイドライン

- ハイヤー・タクシー事業における新型コロナウイルス感染防止マニュアル
（一般社団法人沖縄県ハイヤー・タクシー協会） <http://www.oki-taxi.or.jp/>



(5) モノレール

- 消毒液の設置
- 券売機、改札機、手すり等の定期的な消毒
- 車両は、薬剤による定期的な消毒および換気のため客室窓を開けて運転を実施
- 全従業員に対して、マスク着用及び検温の実施、うがい・手洗いの徹底
- 駅および車両内にて、ポスターや放送による感染症予防対策の啓発

参考ガイドライン

- 鉄軌道事業における新型コロナウイルス感染症対策に関するガイドライン（鉄道連絡会）
<https://www.mintetsu.or.jp/association/news/2020/15261.html>
- ゆいレール（沖縄都市モノレール）：<https://www.yui-rail.co.jp/important/3955/>

5.県内修学旅行受入事業者の対策④

掲載の対策は各団体及び事業者発行ガイドラインの一部抜粋及び取組の一例です。
詳細は修学旅行実施前に各事業者及び旅行会社へ確認をお願いします。

(6)ホテル

- 施設及び客室の換気、定期的な消毒。
- 宿泊客へのマスク着用・手洗い・消毒・体温測定・健康チェックの要請
- 従業員のマスク着用・手洗い・消毒・体温測定・健康チェックの実施
- チェックイン時は代表者がまとめてチェックインを行う。

参加者は一つの場所に固まらず、分散して待機を行うよう要請。

- ロビー、大浴場、食事処・レストラン等、多くの宿泊客が同時に利用する場所での感染防止。
- ビュッフェ方式での徹底した感染防止対策の実施。または、セットメニューでの提供に代えることを検討。

参考ガイドライン

➤宿泊施設における新型コロナウイルス対応ガイドライン（沖縄県ホテル旅館生活衛生同業組合）

<http://www.oah-net.or.jp/news/index.cgi?mode=list&pline=0>

➤ホテル業における新型コロナウイルス感染症感染拡大予防ガイドライン（日本ホテル協会）

<https://www.j-hotel.or.jp/association/pressroom/association/66801>



(7) 観光施設

- 来訪者の入店時等における手指消毒・咳エチケット・手洗い
- 従業員のマスク・フェースガード等の着用・手指の消毒・咳エチケット・手洗いの徹底
- 来園者・関係業務提携機関へのマスク・フェースガード等の着用を求め安心安全確保の共有する
- 出入口等を基本とし手指消毒液を設置
- 会計場所等で、床・待機場所等の目印を備え、列間隔を確保するよう努める。

参考ガイドライン

➤観光施設における新型コロナウイルス対応ガイドライン（一般社団法人美ら島観光施設協会）

<http://churaoki.com/news/20200618.html>

5.県内修学旅行受入事業者の対策⑤

掲載の対策は各団体及び事業者発行ガイドラインの一部抜粋及び取組の一例です。
詳細は修学旅行実施前に各事業者及び旅行会社へ確認をお願いします。

(8) 教育旅行民泊

- 受入れ民家と生徒及び生徒同士の接触をできるだけ避け、対人距離を確保する。
- 入口及び民家内の手指の消毒液の設置。
- 食事、入浴、就寝以外は可能な限りマスクの着用。
- 民家及び客室、車の換気。
- 民家の定期的な消毒。
- 生徒への定期的な手洗い・消毒の要請。
- 民家、生徒の毎日の体温測定、健康チェック。朝は起床後すぐ、夜は夕食後に行う。
- 民家での体験活動はできるだけ外で行うものとする。
- 民家一軒ごとの受入人員は4～6名。**※受入人員については各民泊事業者により異なります。**
- 他人と共用する物品や手が頻繁に触れる箇所を工夫して最低限にする。
- 手や口が触れるようなもの（コップ、箸など）は、適切に洗浄および消毒する、または使い捨てにするなど特段の対応を図る。

参考ガイドライン ※その他各民泊事業者もガイドラインを発行しています。詳細は各事業者のHPなどをご確認ください。

➤有限会社 TM.Planning <http://www.tamarenta.jp/news/>

5.県内修学旅行受入事業者の対策⑥

掲載の対策は各団体及び事業者発行ガイドラインの一部抜粋及び取組の一例です。
詳細は修学旅行実施前に各事業者及び旅行会社へ確認をお願いします。

(9)平和ガイド（ガマ入壕）

- 講師やガイドは実施日ごとに体調、手指消毒、検温等を記録する。
- 講師・ガイドはフェイスシールド、マウスシールドまたはマスクを着用する。生徒はマスクを着用する。
- 講話会場は三密対策のとられた会場であること。
- ガマに入壕時はガマの中での滞在時間を短くし、外で説明する

参考ガイドライン

➤「沖縄県観光ボランティア友の会」三密対策指針（沖縄県観光ボランティアガイド友の会）

※その他フィールドワークや平和関連施設での平和学習実施など各事業者発行のガイドラインを参考ください。



(10)マリン体験

- インストラクター（指導員）および 陸上の健康管理を徹底。
- 事前説明（ブリーフィング）時にはマスクやマウスシールドを着用
- 器材の洗浄・消毒・除菌を毎回徹底して行う。
- 体験学習当日の朝、健康調査表（問診）の提出のお願い
- 朝の検温、うがい手洗い、飛沫感染対策（マスク装着）の協力のお願い

参考ガイドライン

➤ORIC沖縄県海洋レジャー事業協同組合

<https://www.oric.jp/?p=449>

※各事業者発行のガイドラインを参考ください。



5.県内修学旅行受入事業者の対策⑦

掲載の対策は各団体及び事業者発行ガイドラインの一部抜粋及び取組の一例です。
詳細は修学旅行実施前に各事業者及び旅行会社へ確認をお願いします。

(11) 飲食店

- テーブルは、飛沫感染予防のためにパーティションで区切るか、できるだけ2m(最低1m)以上の間隔を空けて横並びで座れるように配置を工夫し、カウンター席は密着しないように適度なスペースを空ける
- 真正面の配置を避けるか、またはテーブル上に区切りのパーティション(アクリル板等)を設けるなど工夫する
- 大皿は避けて、料理は個々に提供する、従業員等が取り分けるなど工夫する
- お客様同士のグラス等の回し飲みは避けるよう、業態に応じ、掲示等により注意喚起する

参考ガイドライン

- 飲食業における新型コロナウイルス対応ガイドライン（沖縄県飲食業生活衛生同業組合）
<https://shima-gourmet.jp/>



(12) お土産店

- 掲示、アナウンスの実施などにより店舗内の対人距離の確保を促す
- 買い物かご、買い物カートのハンドル部分、扉の取っ手など、手の触れる機会の多い箇所・機材等の定期的な消毒
- レジにおいてコイントレーでの現金受渡を励行
- 滞在時間短縮の呼びかけ

参考ガイドライン

- 小売業の店舗における新型コロナウイルス感染症感染拡大予防ガイドライン（日本小売業協会等12団体）
<https://japan-retail.or.jp/>



Umaimon Hunter

